



禅の里

門前東小学校だより

令和3年1月28日 第10号

總持寺開創700年

門前東小学校 校長 浅見 淳一

令和3年になりました。地域・保護者の皆様におかれましては、本年も、本校の教育活動へのご理解とご支援を、よろしくお願いたします。

さて、今年は總持寺開創700年という節目の年であります。全国から多くの方々が集まり、様々な記念行事が行われるそうです。そこで、總持寺について簡単にまとめてみました。

今からちょうど700年前（1321年）、諸嶽観音堂住職の定賢権律師が、瑩山紹瑾（けいざんじょうきん）に寺を委譲しました。瑩山は、諸嶽観音堂を總持寺と改称します。



總持寺祖院 そうなんだ



翌年、總持寺は、後醍醐天皇から曹洞宗總本山と定められます。瑩山から寺を継承した峨山韶碩（がざんじょうせき）も、曹洞宗の布教に尽力。鎌倉時代には能登半島の国人領主長谷部氏、室町時代には能登守護職畠山氏に庇護され、總持寺は、末寺1万6千余を擁する大寺院として発展しました。

1570年、多くの堂宇が焼失しますが、1581年、七尾城城主前田利家が再興。その後、江戸時代となった1610年、利家の正室芳春院（まつ）により山門が寄進されました。

明治31年、大火により再び多くの堂宇が焼失。明治44年、總持寺は横浜市鶴見区へ移転します。それ以降、門前の總持寺は總持寺祖院と呼ばれるようになり、現在にいたります。

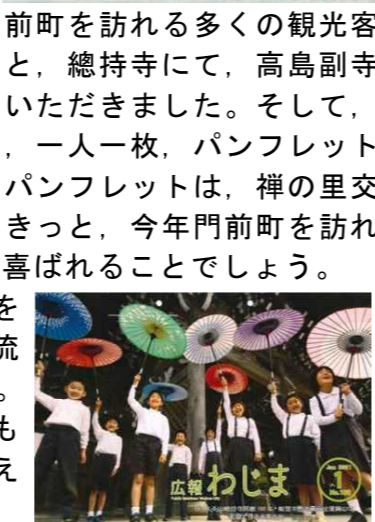
ちなみに、峨山韶碩は、總持寺と永光寺（羽咋市）の住職を兼ねていたため、20余年、毎朝未明に永光寺の朝課を勤め、両寺を結ぶ13里（52km）の険しい山道（峨山道）を往来。總持寺の朝の読経に間に合わせたと伝えられています。總持寺では、禅師の来着を待つために、ゆっくりと読経する大真読を行っていたそうです。（今も行われているとのことです。）



昨年末、6年生が、今年門前町を訪れる多くの観光客に總持寺の見所を紹介しようと、總持寺にて、高島副寺さんに總持寺のことを教えていただきました。そして、自分たちで調べたことも加え、一人一枚、パンフレットを完成させました。現在このパンフレットは、禅の里交流館にて展示されています。きっと、今年門前町を訪れるたくさんの観光客の方々に喜ばれることでしょう。

また、2年生も總持寺を訪ね、高島副寺さんに總持寺のことを教えていただき、感想文を書きました。これも現在、禅の里交流館にて展示中です。皆さんも是非、禅の里交流館を訪れて下さい。

児童にとって、地域の歴史・文化を五感で学ぶことは、とても貴重な体験です。本校は、今後も、どんどん地域に出たいと考えています。地域の皆様、その節はよろしくお願いたします。



2月の予定

日	曜	学校行事
1	月	
2	火	
3	水	卒業記念撮影
4	木	指導主事訪問
5	金	門前中学校入学説明会
6	土	ノーゲームデー
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	クラブ（最終）
11	木	建国記念の日
12	金	全校集会
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	ノーゲームデー
17	水	児童委員会（最終）
18	木	6年生を送る会、学校評議員・学校関係者評価委員会
19	金	全校テスト（国語）
20	土	
21	日	
22	月	読み聞かせ（最終）
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	児童集会
26	金	ノーゲームデー、全校テスト（算数）
27	土	
28	日	



by NAMI URAMOTO



ヤマメ放流

12月9日、本校に待望の「ヤマメ」の卵が140個も届きました。早速児童たちは、準備したペットボトルに一人2匹ずつ入れ、大切にお世話を始めました。ただ、例年であれば卵の状態からお世話するのですが、今年はなぜか、届いてすぐに大半の稚魚が孵ってしまい、結果として、放流前に死んでしまう稚魚も出てしまいました。とても残念でした。

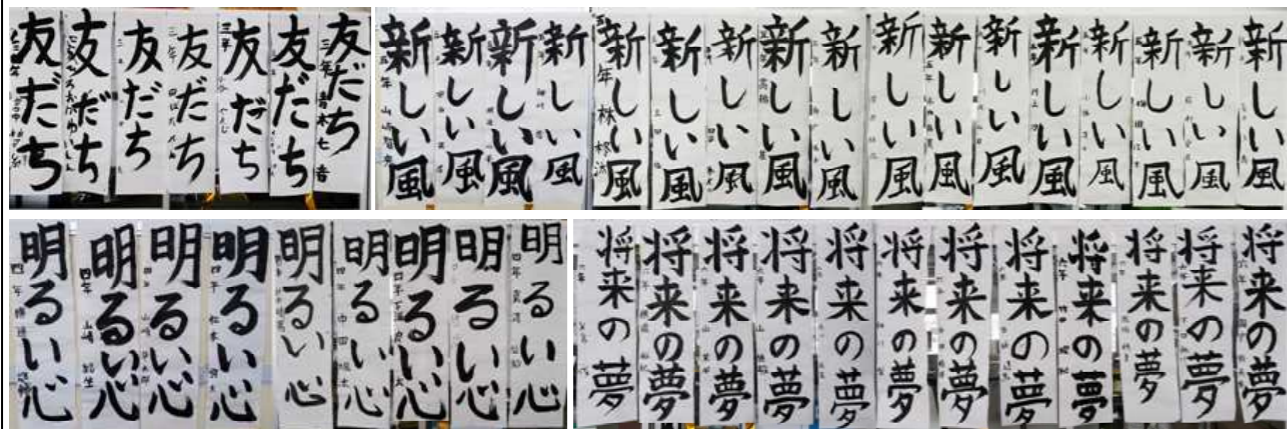


1月15日（金）、晴天に恵まれたこの日、全校児童が、学校近くの二又川へ、ヤマメを放流に行きました。数日前にたくさん積もった雪も溶けてくれていました。児童たちは、ペットボトルで育てたヤマメ2匹ずつを、大切に川へ放してあげました。元気に育ち、いつかまたこの川に戻ってきてほしいですね。

書き初め大会



1月8日(金)、校内書き初め大会を行いました。どの児童も皆真剣に力強く書き上げていました。作品は教室前廊下に掲示。児童下校後、職員で審査し、学級の児童数に応じて、1～4年は2名、5年は4名、6年は3名の入賞者を選びました。作品は、既に家に持ち帰らせてあります。冬休み中のご支援、ありがとうございました。



入賞者を紹介します。おめでとうございます。入賞できなかった児童の作品も上手でした。

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年



百人一首大会

1月22日(金)、百人一首大会を行いました。百人一首は、毎年恒例の、児童が楽しみにしている行事です。



多くの児童が、毎年、得意札を増やすために努力しています。学年が上がるにつれ、その札の枚数も増える訳ですが、中には、低学年の時点で100枚覚えてしまったという児童もあり、対戦相手は運が悪かった

ということになったりします。最後までシーソーゲームだった組もあれば、何と100対0という悲惨な組も！(お手つきをすると1枚相手に渡さなければならないため、そんなことも起こりうるのです。)

今年はコロナ対策のため低学年と高学年が別会場に分かれて行い、合計枚数で競いました。優勝は放送委員会でした。来年は、また全校で一緒にできればいいですね。



授業参観の日



今年度は、この日を含め4回もの授業参観を行うことが出来ました。コロナ禍の中、これまでできましたのは、皆様のご支援とご理解があつてのものであります。ありがとうございます。

13時30分から授業参観を行い、初めてなわとび大会を参観いただきました。例年の大会であれば時間的に授業参観で行うことは難しいのですが、今回はコロナ対応のため、時間を短縮。個人種目(技能跳び・時間跳び)を



なくし、体育の授業で各学級が行うこととしたのです。結果、授業参観内で終了することができました。

児童たちは、縦割り班での8の字跳びで競いました。優勝は保健給食委員会でした。どのグループもよく頑張り、接戦でした。



「すごい技ひろう」では、最後に一人で三重跳びに挑戦した5年君に大きな拍手が贈られました。その他、たくさんの児童が、得意技を披露してくれました。



15時からの教育懇話会では、はじめにPTA功労者表彰を行い、長年にわたって本校のPTA活動に尽力してくださった さんに、教育長から賞状が手渡されました。次に、学校からの報告として、この1年間の教育活動についてプレゼンテーションしました。VTRを多く活用したので、分かりやすかったのではないかと

市教委からは、教育長から、「市教委の取組について及び保護者に伝えたいこと」としてお話がありました。

質疑応答では、保護者の皆様から来年度の複式に関する質問等、活発な質問がありました。その他、この日は学級懇談会やPTA専門委員会もありました。ご参加下さいました保護者の皆様、ありがとうございました。



招待給食



1月25日、毎日給食を作って下さっている給食調理員の方々をお招きし、一緒に給食をいただきました。

はじめに、全校児童からの心のこもった手紙をお渡ししました。そして次は会食。しゃべらずに、一緒に美味しくいただきました。メニューは、「能登牛スペシャルカレー」。児童たちも調理員の方々も、みんな笑顔でした。ホームページの「今日の給食」ページもご覧下さい。